

## 【第2部】議事要旨

### 1. 事前にいただいた市長への質問事項への回答

モニターからの事前質問	市長の回答
(1) 待機児童について	しっかりやっていく予定。東側も大変な状況になってきたので、公共用地をさらに提供し、幼稚園の空間も活用し、早急に受け入れ態勢を整えている。
(2) 保育所の数について (3) 保育の質について	保育所の数は、今後も作っていくが質は大事。どっちかを選べと言われると質を選ぶ。子どもにとって適した空間を確保し、良い先生に見てもらおう状況を作るというのを合わせてやっていく。明石市として無認可も含め全園を回り、子どもにとってふさわしい空間づくり、職員配置をしていただくよう、予算もつけてやっているところ。
(4) 保育料について	明石市では既に第2子以降は無料だが、国の無償化が始まるので、1年間で7億5千万のお金が何かに使える。次年度何をすべきか検討している。今日の意見も踏まえて次年度以降の事業展開を考えていく。休日保育とか保育のありようについては、まだまだ不便なので、時間とか受け入れの問題は検討していく。
(6) 待機児童対策後の施策について	待機の問題は学童とセット。明石市としては最重点課題の一つ。明石市に学童の待機児童はいないが、引き続き待機児童を出さないよう、合わせて良い先生に見てもらえるために、先生の質も上げていく。待遇改善、研修をしっかりやっていく方向で考えている。
(7) 保育所の入所基準について	点数がおかしいという議論。行政としてはできる限りという思いでやっているが、やはり時代の変化とか、状況にあっているのかという疑問点があるのは分かる。配点のあり方については、1部でも意見が相当出た。みなさんの声を踏まえて点数配分については再検討していきたい。
(8) 病児保育について	市長になって最初にやった仕事は病児保育を作ること。病児保育を東西に2か所作った。子どもが病気になったとき、親の責任ではなく行政の責任でしっかりした体制を作るべきと思っている。今、病児保育は東西2か所あるので、さらに必要かどうかだが、病気の時の対応については重要だと思っている。
(9) 小学校の数について	大久保の北側あたりがずいぶん混んできているという議論はあり得るが、現時点で小学校の数を増やす予定はない。明石市で予算を組んで小学校1年生は子どもの少ない30人学級を実現している。昨年4月から中核市となり学校の先生の研修を明石市がやっている。発達障がいの子どもの向き合いとか、児童の虐待、子どもの貧困をテーマに明石市として時間を取って先生にお伝えし始めた状況。

【第2部】議事要旨

(11) 学童保育について	学童のポイントは3つ思っていて、早い段階から空間確保して待機は出さない、必要なお子さんは必ず預かるというのが1つ。しっかりしたレベルの高い先生に見ていただくため、待遇改善や研修をしていくというのが1つ。もう1つは、地域の方々との交流とかプラスアルファの学びとか気づきを入れていきたい。この3つで検討している。
(12) 今後の市政について	引き続き、子どもについてはさらに力を入れていく。市長になる8年前の明石市の子どもに関する予算は100億円。1000億円くらいが一般会計の予算のうち1割予算だった。全国でだいたいそう。私が市長になって240億円。2倍以上に増やしたが、いまだ国は半分程度なので、明石が倍にしたところで、全体としては不十分な状況だと思っていて、さらにやっていきたいと思っている。
(13) 障がい児に関する今後の施策について	発達障がいや医療的ケアを必要とする人については、ヨーロッパではマンツーマンで先生が付くのが当たり前。ただ、日本は程遠い状況のため、今検討しているが、来年からできるというような簡単な事ではない。ただ、方向としては、医療的ケアや発達障がい、多動を含めたお子さんについてはしっかりやっていきたいという強いを持っている。
(14) 公園について	順次整備しているところ。
(15) 子どもの安全対策について	カメラとかもちろん大事だが、地域の目と両面でしっかりやっていきたいと思っている。

2. 意見交換

項目	ご意見	市長等の回答
待機児童対策	乳児期は母親が関わり、幼児期の3歳くらいになり、子どもが集団を求める時期に幼稚園とか保育所に入れるのがよいと思っているが、今は0・1・2歳の、小さい子の受け入れをどんどん増やしている。実際には集団に入るべき3歳くらいから幼児期の子どもが行けるところを増やしてほしい。公立も3年保育にしているが、定員20人で入れない子もいると思う。乳児期の子より幼稚園の子の受け入れを増やしてほしい。	幼稚園、保育所、在宅も行政としてしっかり支援していくスタンス。それぞれの方にとって考え方が割れるテーマなのでどれが正しいという立場ではなく、それぞれ対応していく。明石の幼稚園はなぜ2年かと思っていたので、やっと3年でスタートできた。あとは、共働きの方で大変な思いをされている方もいらっしゃるのでは、矛盾するものではなく、両方しっかりやっていきたい。単に受け皿ではなく問題意識として在宅の方の支援もやっていきたいという考えを持っている。

【第2部】議事要旨

<p>3歳児</p>	<p>今3歳の話が出たが、0～2歳児では先生の数が少ないとはあまり思わなかったが、3歳になると25人くらいを先生が1人でみていて、朝は50人くらいどンドン集まってくるのに9時になるまで先生1人で、非常に少ないと思う。国のルールは守っていると思うが3歳の先生の人数が不安。</p>	<p>私の問題意識は、国が決めたルールを守るだけでなく、それを上回ってでも必要であればやる。だからこそ、小学校1年生は国の基準を上回って30人学級。児童相談所は国の基準の倍の職員。今のような声を挙げていただくとありがたい。そういった問題意識もあり、厚労省で保育や学童保育を担当していた方に来てもらっている。生の声を聴いて国に言ってもらえたら厚労省にも伝わる。中央省庁の応援ももらいながらやっている。</p>
<p>人口増</p>	<p>市長が30万人を目指すのは、税金が増えてその分、みんなに還元できる、という理由からなのか。</p>	<p>ここについてはよく誤解がある。私自身は人数が多いのがよいという考えの持ち主ではない。数ではなく、一人一人が良い明石と思うかどうか最大のポイント。ただ、人口が増えると納税者が増える。地域で過ごす賑やかさが増し、地域経済が潤い、税金が増え、まちが元気になる。目的が人を増やすことではなく、まさに好循環。これをきれいな円のような形にして持っていく。これが狙い。今それに近づきつつあると思っている。</p>

【第2部】議事要旨

<p>保育所の数 保育士待遇</p>	<p>・子育て世帯が、明石を選ぶように、第2子無償化とか、医療費の無償化とかされているが、もともと住んでいた私は待機児童になり、何のために人を増やしているのかと思う。東部に住んでいるが、保育所も、小規模園ができるだけで見掛け倒しと思う。大久保に大きい園が2つできたが、東部にも作ってほしい。小規模園をポツポツ作るのではなく、小学校に上がるまで通える園、園庭が広くてのびのび過ごせる園を作ってほしい。東部でも土地が余っている。松が丘南とか小学校があった所とか、保育所にすればよいのと思う。</p> <p>・保育士の初任給が少し底上げされたが、経験のある保育士のモチベーションを見てほしいと思っている。</p>	<p>・結論からいうと保育所をさらに作る。最近、市東部が待機の多い状況があるので、早急に用地の確保、どこを使うか検討する。東部にも必ず作る。オープンまで1年半くらいかかるので、幼稚園の余裕教室等を活用し、早急に来年4月に間に合う対応を今緊急でやっている。</p> <p>・明石市は子育てにやさしいと言って人を集める前に、もともと住んでいる人にしっかりやるべきという主張はもっともと思っている。先ほどの第1部では逆の意見もあり、明石が住みやすいからと転居してきたのに待機児童になったというお怒りの声もあった。ひとえに行政が追い付いていない。そういった意見聞かせていただき、さらに早急にやっていく。</p> <p>・明石市は保育士の待遇を改善しているが、確認する。</p>
<p>ママ友づくり 集団登校</p>	<p>・去年、他県から明石に移住してきた。移住組は友達も両親もいなくて子どもが一人目だとすごく孤独だ。</p> <p>・明石は子育てのイベントがすごく少ないと思う。イベントの呼びかけをもっとしてほしい。</p> <p>・小学校がすごく遠くて、国道を渡っていかないといけないが子どもたちが通っているところを見て怖いと思う。明石では集団登校されていないのか。</p>	<p>・引っ越してこられて知り合いが多くないというテーマ。だからこそ駅前の空間に子どもの場を作り、いろいろ入れ替えた。しかし市全体でみると施設、空間の多いまちとは言えないので、引き続き、ママ友が作れるような空間や機会を増やせるように考えている。</p> <p>・通学路は、スクールガードを含めたソフト、ハード面両から、大きなテーマ。あとは校区についても適宜見直しをしている。</p>
<p>就職 保育所入所基準</p>	<p>きょうだいを別の保育所に通わせている知人がいて、3人目をもうすぐ出産する。就職・復職にこれまでものすごく苦労している。この問題も考えてあげないといけないと思う。</p>	<p>・改めて、保育所に入る配点基準については皆様のご意見を賜り、見直しをかけたいと思う。ただ悩ましいのは、どこかを上げるとどこかが落ちるので、切実な声はすでにいただいている。</p> <p>・就職の件も含め、声を挙げてほしい。怒り憤りを挙げていただき、できるだけ誠実に向き合いたいと思っている。</p>

【第2部】議事要旨

<p>障がい児支援</p>	<p>・特別支援学校が稲美町にあり明石市にないのが残念だったが、今後どういう風に考えておられるのか伺いたい。</p> <p>・きょうだいと障がい者が安心して遊べる場所について、林崎に障がい者専用のプールがあるが、そこは親と障がい者の子しか遊べない。きょうだいも行きたいとかという声もあると思う。</p> <p>・テイラーメイドの支援、どういう風に充実させていくかという考えをお聞きしたい。</p>	<p>・総合福祉センターの隣の土地を購入し、そこに障がいのある方ない方共に、交流できたり遊べる空間をこの5月に作った。障がい者、健常者問わず、時間と感動を共にするというコンセプトでスタートしているが必ずしもまだ知られていない。</p> <p>・2点目は例えば、来年4月、市民病院の隣に救急の歯医者を作る。少しお金がかかろうが歯科医を揃え、しっかりとやろうと計画している。加えて、学校における健常者と障がい者の交流の少なさと言うのは日本社会の問題だと思っているので、その部分も今教育委員会と一緒に検討している。</p>
<p>障がい児支援</p>	<p>子どもが発達障がいでも普通学級で過ごしているが、1年生の時から私が付き添わないと学校にいけないという状態が続いている。支援学級に介助員は配置されているが、普通学級にも支援が必要としている子がいっぱいいる。少しでも普通学級にも介助の先生がいてくれるとよいのにと感じ続けている。私の子だけでなく、他にもたくさんそのようなお子さんがいらっしゃる。その辺を少し考えていただけたらありがたいと思う。</p>	<p>今まさに教育委員会と考えている。当然必要だから確保する方向で検討している。明石市は、人件費を市が負担する形で、兵庫県で初めて小学校1年生を30人学級にした。同じ発想が必要。明石市として踏み出すかどうか。このテーマは人件費も必要になる。ただ、今、その方向に向かって検討を始めている。一気には行けないと思うが、少なくとも踏み出そうとは思っている。</p>
<p>保育所</p>	<p>保育所は今の時代、もう少し紙の書類を減らしてほしい。</p>	<p>ご意見確かに伺いました。</p>
<p>こども食堂</p>	<p>地域でボランティア団体がこども食堂をやっているが、校区単位で分断されていると思う。</p>	<p>こども食堂も全校区に現在41か所あり、こどもセンターも立ち上げ、地域との連携を進めているので、縦割りではなく横につないでいく方向で行きたいと思っている。</p>

【第2部】議事要旨

<p>情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診で子どもの言葉が遅いと指摘されたときに、自分を責めてしまった。親がストレスを抱えていると、直に子どもに影響してしまうので親のケアもしてもらえたらと思う。</li> <li>・市内に数多くの子育てサークル、団体があるが、信頼できる明石市が勧める団体をもっと知りたい。</li> <li>・イベントを広報してくださっているが、午前中が多い。午後から行けるものであったり、土日にやっていただけると嬉しい。</li> <li>・ママ友の今のある場を維持するのもよいが、広げる機会もあってもよいかなと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ友を作りやすい場の設定はさらに市内全域に広げていく考えをもっている。発信の仕方についても、紙だけではなく情報を伝えていく方法もしっかり考えていきたい。</li> <li>・子育て応援企業として企業さんでも子育て支援をしっかりとしているところにはお墨付きをつけることを始めている。</li> <li>・現在、子育て応援ナビとかで子育て情報をSNSで見られるような形にしているが、少し考えていきたいと思っている。あと、こども財団が、地域の中での子育て支援サービスをもう少し発信する役割になっていけたらなと思っている。こども財団ともしっかり情報共有していきたい。</li> </ul>
<p>タバコ チャイルドシート 子ども会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコについて最近困っている。妻が妊娠中で気を使っている。子育てを応援しているのに、喫煙所が多くて憤りを感じることが多い。できれば、ポスターでの呼びかけだけでなく禁止とにできないか。</li> <li>・交通安全協会に最近チャイルドシートのお願いをしたが、車を持っていることが条件と言われた。今の時代にカーシェアやレンタカーでは借りられないのは困る。</li> <li>・自治会だよりで、子ども会が0人になり、子どもを加入してくれないかとお願いが来る。これからどうされるかお考えをお聞きしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコにはたくさんの意見いただいている。完全禁煙なのか、子どもが来るところはやめてね、なのかいろいろな整備の仕方があるとは思いますが、問題意識は強く持っている。</li> <li>・2つ目のチャイルドシートは、交通安全協会に明石市から委託でお願いしている。自分で自分の車を持つ時代でなく、カーシェアが当然の時代なので、検討する。</li> <li>・3つ目の子ども会。これは県がスポーツクラブ21を始めた流れで、そちらにシフトした経緯がある。子ども会も、地域によってはほぼなくなっている状況だと認識している。どちらにしても過度な保護者の負担なく、子どもたちが集えて、そこに楽しみがあり、という場は広げていく方向で、探っている。</li> </ul>

【第2部】議事要旨

<p>エレベーター 保育の質</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石駅のエレベーターがホームに1台ずつしかなく、混雑している。もう1台作ってもらえないか。あと、西明石駅の中央改札の方にはエレベーターがあるが、反対側の方にも設置していただきたい。</li> <li>・保育の質について、今は0歳の4月に保育所に入れないと入れなくなる。会社からは1年育休をもらえるのに、4月でないと入れなくなるから、もっと子どもと長く一緒にいたいのが保育所に預けなければならない。</li> <li>・3歳児の児童の先生の数が少なすぎる。これからは、先進国がやっているような、一人一人に向き合う保育を実践していかなければならない。国の基準ではなく、今本当に必要とされている基準を市独自に取り入れてほしい。</li> <li>・保育士が最新の保育を、学んで実際に保育に活かしやすいような学びの環境も提供してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西明石はエレベーターをJRに作ってもらう方向で調整している。JRに働きかけた結果、明石駅、西明石駅には、神戸駅、姫路駅よりも先にホーム柵が付くことになった。西明石は確かに、新幹線側の反対側からでも車椅子でホームに降りられる状況が必要だと思っている。まもなく、できる方向で発表できるように最終調整中。明石駅はどこに作るのかという議論にもなるが、ご指摘はごもっともだと思う。</li> <li>・入所の時期。明石市では、待機児童がこういう状況であるがゆえに、本来もう少し子どもと向き合いたいと思っている方があえて時期を変えていただく状況で申し訳なく思っている。引き続き、待機児童の状況を解消しながら、いつでもニーズのあった時期に受け入れる体制までもっていくことが必要だと思っている。</li> </ul>
<p>保育所</p>	<p>保育所側も、0歳児を確保しておけば収益を確保できるので0歳児を入れたがる背景があると聞いたことがあるので、保育所に財政的に段階的な支援ができれば他の年齢の受け入れもしてくれるのかなと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設側も運営なので明石市で助成金を出すとか仕組みを変えるとか可能性を探るとかの問題だと思う。</li> <li>・保育士については、待機児童の対応の量的確保と、それに必要な最低限の保育士の確保で精一杯な状況で、それにプラスアルファで踏み出していける余裕が無い状況。</li> <li>・学童について今は待機児童はいないが、今後待機が出てくる可能性が0ではないので、小学校の学童は絶対受け入れるように、受け皿を作る。学童指導員について、国は資格が無くてもよいというように変えたが、明石では国とは反対での学童は質の高い職員が複数の目で見るという考えをもっている。</li> </ul>

【第2部】議事要旨

<p>交通</p>	<p>石ヶ谷公園も、海浜プールも子どもが好きなところだが、車がなくては行けず、また、バスの本数が少ないのでなかなか行けない。良い公園とか施設があるのにすごく残念だと思っている。</p>	<p>バスについては、東部は民間のバス。西部はたこバスが走っている状況。明石市としてはたこバスのルート拡大を予定していて、東の方にもたこバスを走らせるとか、ルートの見直しを今検討している。神姫バスや山陽バスとの協議の場もあるが、事業者は経営なので走らせてもらうのなら、収支が合うような状況で民間にやっていただく。たこバスについては1年間で1億円くらい補填している。もちろん税金をつぎ込んで走らすことは不可能ではないが、それがよいのかどうかで今、見直している。</p>
<p>保育所入所基準</p>	<p>2歳児までの保育所では、3歳になる時に新たに保育所に申請する必要があり、その時に入れるかどうかという問題がある。2歳までで、次3歳に入れないということが無いように、例え保育所が変わっても小学校に入るまで入り続けられるよう配慮していただきたい。</p>	<p>・一つは待機児童についての状況がまだまだで、市の持っている土地を事業者に提供してさらに作り続ける。加えて幼稚園の空間などを確保して、早急に受け皿を広げる。それも含めて待機児童についても質の担保を伴った量的拡充は明石市の最重点課題であり続けているので、しっかりやる。</p> <p>・加えて色々な状況での点数の在り方の見直しについては検討していく。結論は今日の時点では出ないが、どんどん声を挙げていただいた方がありがたい。</p>



【第2部】議事要旨

療育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育機関を選ぶときに情報が少なすぎる。もう少し療育機関について、民間の事業者がどんな特徴があるのか詳しくしていただかないと、選ぶ基準すら分からない。</li> <li>・療育機関によって正直すごくばらつきがある。力を入れてやっていただいているところと、そうでないところと。その辺の底上げしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育については障害福祉課のほか、発達支援センターもある。こどもセンターには子どもの発達面で専門的な心理士もいるので、ご相談いただければと思う。ただ色々な窓口があることはよいことだが、連携を持ってやっていきたいと思っている。</li> <li>・4月にこどもセンターを立ち上げた。これまでは療育手帳の判定だけで発行はできなかったが、去年、国に強い声をあげ、全国で中核市として初めて療育手帳の判定から発行までできるようになった。私の中では大きいライフワークの一つ。発達障がいを含む相談機能をさらに充実させて、既にある関係機関とさらに連携させていく。</li> </ul>
療育	江井島の幼児療育について、何回か予約してみようと思って電話したが、当日のキャンセル待ちだった。もう少し数をふやしてほしい。	定員枠の問題なのか、運用の問題なのか確認する。必要であれば当然増やすべきものなので。確認して対応する。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し、ホームページに子どもについての不安に対する相談先など、細かく載っていたらよいと思う。</li> <li>・先日タウンミーティングに参加したとき、高齢者の方が多かったが、子育て世帯のことも考えてくれている方がすごく多く、非常に有意義な時間だった。例えば大久保モニターみたいに地域の方とも交流が持てるような場所があったらよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の仕方は、子育て応援ナビを含めて充実化を図っていきたい。</li> <li>・市長としては、明石は子どものまち。子どものことをしっかりするのはまちのためだと思っている。そこは多くの市民に共感を得たいと思っている。</li> <li>・今日の話をつまえて、広報や議会を含め説明していく中で、いかに今子育て層が、発達障がいや様々な事情を抱えたお子さんのご家族が、大変かということ、これは行政がやっていくテーマだとしてしっかり発信し、まち全体で共感を得ながらやっていく。市民に共感を持って迎えらるような工夫をしていきたい。</li> <li>・リアルな生の声こそが行政を動かす。生の思いお寄せください。</li> </ul>